

学生情報シート(コース登録時)

記入日		は大学側が記入				
学籍番号	氏名(漢字)	氏名(カナ)	所属学部	類・学科・コース	学科所属年月日	学論所属年月日
G所属申請日時	以下、(参考)は申請時点の記載内容。内容を更新したい場合は、【更新項目】に記入。					
(参考)グローバル理工人育成コース志望理由						
(参考)今後の留学予定						
(参考)海外留学希望						
(参考)海外ボランティア						
(参考)海外インターンシップ						

以下、現在自身が考える将来設計等について、内容を記載してください。

将来の夢や目標、自身の将来像	
関心分野	
自身の強みと強化方法	
自身の弱みと克服方法	
自身が興味のある分野で将来国際的に活躍するための準備など	

留学プログラム 1	留学先 国	
留学先 機関	留学期間	関係する科目
留学目的と目標		
目標達成度、成果		

これまで行ったグローバル理工人がめざす能力の育成を意識した活動について記載して下さい。

例: ボランティア、インターンシップ、イングリッシュカフェ、その他

--	--

グローバル理工人育成コース履修科目 省察シート

記入日 は大学側が記入

学籍番号	氏名(漢字)	氏名(カナ)	所属学部	類・学科・コース	学科所属年月日	学論所属年月日
11_98765						

東工大試行GPA(通算) 東工大試行GPA(2013前期)

以下、グローバル理工人育成コースの科目について、自己省察を行い、内容を記入して下さい。

科目名	成績
学修目標(授業前)について	授業中の取組姿勢について
目標達成度、成果について	反省点・改善点

科目名	成績
学修目標(授業前)について	授業中の取組姿勢について
目標達成度、成果について	反省点・改善点

グローバル理工人育成コースの科目以外で、グローバル理工人としての能力が育成されたと考えられる科目について、育成されるべき能力の具体的な項目に基づき内容を記載してください。必要に応じて適宜セルを追加して下さい。

科目名	成績
学習内容の概要	
学修目標(授業前)について	授業中の取組姿勢について
目標達成度、成果について	反省点・改善点

次学期にむけた決意・学修目標

担当教員からのコメント			
担当者	記入日		

以下、グローバル理工人としての自身の能力について、自己評価を行って下さい。(なお、自己評価の点数は、コース修了の可否とは直接関係ありません) 非常にそう思う 5; そう思う 4; どちらかと言えばそう思う 3; そう思わない 2; まったくそう思わない 1 の5段階でそれぞれの設問の右枠に記入してください。

(1)国際意識	国際的な視点から多面的に考えられる能力	1) 自身と異なる生活環境、宗教、文化、習慣、常識について理解し、多文化共生時代について考えられる。
		2) 世界の現状を理解した上で、自国と自身の関係について客観的に考察できる。
		3) 固定観念に執着せず鳥瞰的・俯瞰的な視野に立って物事を分析できる。
グローバルな活躍への意欲		1) 国際社会の課題について、理工系人材として自身が貢献可能な分野、事柄、方法について考察できる。
		2) 上記②-1)を踏まえ、今後養うべき能力を明らかにできる。
		3) 上記②-2)を踏まえ、現在自身がどのような準備をすればよいかを明確にし、そのための行動を起こせる。
(2)英語力・コミュニケーション力	海外の大学等で勉学するのに必要な英語力	1) 英語で行われる授業を正確に聴きとる聴解力や、英語で書かれた文献資料の内容を理解する読解力の基礎を習得している。
	コミュニケーション力	1) 留学先で生活していくことを念頭に置いて、さまざまな場面においてとまどうことなく英語で意思疎通を図ろうとチャレンジすることができる。 2) 失敗を恐れず、勇気を持って積極的に英語で自己発信していく姿勢を身につけている。
(3)異文化理解力・チームワーク力	異文化理解力	1) 理工系人材が活躍する様々な場において、国籍、性別、年齢、社会での役割等、自身とは異なる個人や団体に対して、違いを認めたと他者の考えを理解・尊重できる。 2) 積極的に自身と他者や、自身と様々な事象、また、個別の事象ごとのつながりや関わりを理解できる。
	チームワーク力	1) 理工系の知識や技術が必要とされる様々な場において、他者の考えや行動に共感し、その場におかれた自身の役割を理解し、他者と共同・協力しつつ問題解決を図れる。 2) 他者の立場に立ち、自身の行動に責任を持ち、リーダーシップを発揮し、技術支援等の現場で積極的な行動を起こすための基礎的な能力を身につけている。
(4)課題発見・解決力		1) さまざまな主体が関わる海外における技術支援等の実践の場で、他者の立場や考え方を理解・尊重できる。
		2) 複数のリソースから必要な情報を適切に取得し、俯瞰的な視野に立ち客観的・多面的・総合的に分析した上で問題を明らかにし、問題の本質を理解できる。
		3) 問題の本質を理解するため、人間の行動の理解と人間行動の全体のメカニズムを知り、その上で、論理性、合理性、公平性、また、感性を踏まえて、豊かな知識と経験に基づいて最適な解決法を提案するための基礎的な能力を身につけている。
(5)実践的能力	海外で主体的に行動できる能力	1) 自らの専門性を基礎として、異なる環境においても生活でき、業務をこなす力を持ち、窮地を乗り切るための判断力、危機管理能力を含めて自らの意思で行動するための基礎的な能力を身につけている。
		2) 異文化理解が進み、相手の考えを理解して自分の考えを説明できるコミュニケーション能力、語学力、表現力を身につけている。
		3) 海外の様々な場において、実践的能力と科学技術者としての倫理を身に着け、チームワークと協調性を実践し、課題発見・問題解決能力を発揮して、新興国における科学技術分野で活躍するための基礎的な能力を身につけている。

グローバル理工人能力	
(1) 国際意識	0
(2) 英語力・コミュニケーション力	0
(3) 異文化理解力・チームワーク力	0
(4) 課題発見・解決力	0
(5) 実践的能力	0

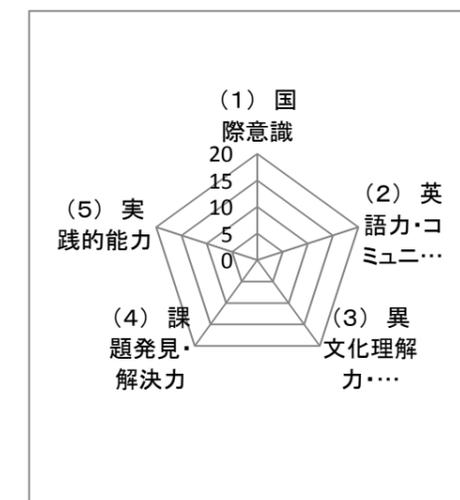
0 0

0

0

0

0



本人コメント (400字程度)

教員コメント